

2025年4月25日

各 位

東京都港区港南四丁目1番8号
会社名 アドソル日進株式会社
代表者名 代表取締役会長 兼 CEO 上田 富三
コード番号 3837 東証プライム市場
問合せ責任者 取締役管理本部長 寺村 知万
(TEL 03-5796-3131)

森を育て、社会と未来を守る、「MODRINAE（戻り苗）」プロジェクトに参加 ～土砂災害リスクと環境負荷の低減への貢献に向けて、オフィスでの苗木育成を開始～

アドソル日進株式会社（本社：東京都港区、代表取締役会長 兼 CEO 上田富三、以下：アドソル日進）は、持続可能な社会の実現への貢献をめざし、環境基本方針に基づく環境保全に取り組んでいます。このほど、株式会社ソマノベース（以下、ソマノベース社）が実施する、オフィス内で苗木を育て、1年後に森林に植林する「MODRINAE（戻り苗）」プロジェクトに参加いたしましたので、お知らせいたします。



1. 背景

アドソル日進は、ダム・河川管理や防災・レジリエンスシステム（災害発生時の情報収集や関係機関との共有による意思決定の支援、及び市民への情報提供等）を官公庁や自治体向けに20年以上にわたり提供しています。

このほど、ソマノベース社の掲げるビジョン「土砂災害による人的被害をゼロにする」に共感し、植林を通じて土砂災害リスクの低い山林づくりに取り組む「MODRINAE（戻り苗）」プロジェクトに参加いたしました。東京本社にて、24本の苗木を1年間育成し、その後和歌山県内の森に植林することで、土砂災害リスク及び環境負荷の低減に貢献してまいります。



東京本社エントランスで24本の苗木を育成

2. アドソル日進の環境保全に関する取組み

アドソル日進は、2004年、環境マネジメントシステム（ISO14001：2015／JISQ14001：2015）の認証を取得。以降、持続可能な社会の実現に貢献するシステム開発およびソリューションの提供に加えて、環境保全活動を推進しています。2021年12月には、「TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）^{※1}」の提言に対する賛同を表明し、TCFD提言の枠組みに基づく情報開示を強化しています。

また、2023年5月に策定した中期経営計画「New Canvas 2026」では、「カーボンニュートラル」や「スマートシティ」の実現に向けた戦略を推進しています。

今後も、情報開示の充実に努めるとともに、事業戦略や環境負荷低減に取り組んでまいります。

■ご参考 URL

1. MODRINAE（戻り苗）プロジェクトについて
<https://modrinae.myshopify.com/>
2. アドソル日進 サステナビリティサイト
<https://adniss.jp/esg/>

※1 TCFD：G20 財務大臣及び中央銀行総裁の意向を受け、金融安定理事会（FSB）が設置した「気候関連財務情報開示タスクフォース（Task Force on Climate-related Financial Disclosures）」

以上

報道関係者 お問い合わせ先：

アドソル日進株式会社 経営企画室 広報・IR 担当

TEL（代表）：03-5796-3131 e-mail：ir@adniss.jp

※ 本リリースに記載された内容は、**発表日時点の情報**です。その後、サービス提供状況や仕様などが変更される可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※ 会社名、製品名、サービス名は、当社または各社、各団体の商標もしくは登録商標です。なお、本文中において TM、®マークの一部を記載しておりません。